

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着サービスの意義を職員全員で確認し、地域の方と交流を含め、皆さんに愛されるホームを目指し、利用者様の笑顔を引き出すお手伝いが出来るよう理念を作り上げました。そのために、毎日の申し送りで確認をしています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングでは、理念を掘り下げて職員全体で話し合い、具体的なケアについて意見の統一を図っています。笑顔を引き出すお手伝い・・・として、レクレーションや利用者様の笑顔が見られる可能性のあるイベントを多く計画しております。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には訪問時、家族会等、繰り返し伝えています。地域住民との茶会やホーム見学時にわかりやすく説明したりと実践を伝えるようにしています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様の散歩中や、町内清掃、資源回収にも参加しております。また、納涼祭には回覧板にてお誘いしており、一緒に楽しんでいただいています。又、近隣の子供達が毛筆を習いに来たり、囲碁を挑戦に来ています。花壇の花を頂いたりしています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の方や子供さんが自由に遊びにこられます。習字を習いにこられる親子さんや、囲碁を利用者と一緒にされたしています。又、ダンス教室、初詣、どんと焼きなどに参加し、交流しています。資源回収等に協力し、一緒に活動しております。	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>区長さんに回覧板を依頼をし、地域の方々をホームで開いている囲碁、ペン習字へのお誘いをし自由に遊びに来ていただいています。地域の一人暮らしの方等に声かけし、傾聴ボランティアさんとして来所して頂いております。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年度の外部評価の結果を踏まえ、改善計画を作成し、取り組んでいます。</p> <p>・ホームだより年3回発行 ・運営推進会議等で災害対策への協力を呼びかけ、避難訓練の案内を出しています。 ・ターミナルケアについて折にふれユニット会で話し合っています。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で取り上げられた検討、懸念事項について経過を報告しあい、さらなるサービス向上に取り組んでいます。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ボランティアさんの紹介を依頼したり、福祉センターの利用の相談に乗っていただき、改善への協力をしていただき、サービスの提供に役立っています。運営推進会議に出席して頂いている民生委員さん、市職員、区長、お巡りさん、地主さん等に意見交流や協力をして頂いています。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加できるものは学習し、その資料を会議などで伝え、全員が学ぶ機会を設けています。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待について学習する機会はありませんが、現時点では当ホームでは全く無い為、今後も防止に努めたいです。</p>	

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をとって丁寧に説明をしています。利用料金、重度化、看取りに付いて対応、医療連携体制の実際などについて詳しく説明し、同意を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心がけています。利用者様の不安、意見等は会議で話し合い、情報を共有しています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行事やレクリエーション、季節ごとの様子等、頻繁にスナップ写真を撮り、個人のアルバムに貼付したり、毎月1枚御家族に送っています。ホームだよりは年3回発行しています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事に参加して頂いた折に、アンケート用紙を配布し、意見を聴く機会を作っています。又、意見は全スタッフで共有し、取り組んでいます。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回のユニット会で個々の意見を聞くようにしています。 ・毎年、ホーム内研究としてBS法による職員の意見や気づきを把握し、改善に向け反映させています。 ・利用者様の受け入れは、スタッフと相談し、決定しております。 	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は、状況に応じた対応が出来るよう、シフトになるべく入れず、利用者の状態の変化に応じた柔軟な体制がとれています。病院受診等、ご家族に協力し、可能な限り職員で対応に努めています。	

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>他グループホームへの見学を行っております。又、お花見、イチゴ狩り等のバス旅行を実施し、利用者様にも好評であったため、今後は温泉旅行など計画したいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	<p>職員の資格取得に向けた支援を行いながら、QC活動等を通し、利用者様がどんどん元気になれる姿等を実感することで、更なる向上心につなげるための実践をしています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談で生活状態を把握するよう努め、体験入居や見学、訪問などをしていただいています。また、生活歴や、困っていることなどしっかり聞き取ることで信頼関係を築けるよう努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の話聞く中で、納得のいくまで一緒に考え、ホームとご家族と協力体制を築き、安心していただけるよう努めています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と、ご家族の気持ちを大切に、ただちにカンファレンスを開催し、ご本人が必要とされるケアプラン立案し、ご本人が必要とされるケアサービス提供を検討しています。尚、当ホームが満室の場合で、早期入居が必要と思われる場合、ご一緒に探させて頂いています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族の希望を大切に、イベントやレクリエーションなど、体験生活を行っています。	○
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、支援される側という意識を持たず、お互いが協力しながら和やかに生活が出来るよう場面作りや、声かけをしています。	○
			入居される前にホームでの活動を体験して頂き、ご家族にも一緒に過ごして頂くことで安心してもらえるよう努めています。

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の様子、職員の思いを伝え、ご家族と職員の思いが徐々に重なり、ご本人を支えていくための協力関係を築くことができるよう行っています。	○	ご家族への手紙、アルバム、たじみ便り等で利用者様の様子をお知らせする機会を増やすと共に、協力し合って一緒に楽しんで頂ける行事計画を立案し努めています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族、ご本人の思いや状況を見極めながら、外出・外泊でご家族と一緒に過ごす事を勧めたり、行事にご家族をお誘いし、より良い関係の継続に務めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所（スーパー、公園等）に行ったり又、ご親戚、同僚など面会、電話連絡もあり、職員もそれを理解し支援しています。	○	地域にある美容院に行く事で、ヘアスタイルを自ら選択し、お客様との会話をしながら楽しく過ごされています。又、近隣のスーパーに食材を買い物に行って頂きます。馴染みの知人・友人が遊びに来られ一緒に麻雀をされています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に話しを聴いたり、相談に乗ったり皆で楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りをし、スタッフは調整役となり支援しています。生活歴よりホーム内に喫茶店を開店して頂き、コーヒーを飲みながらコーヒー好きな利用者様とスタッフがお話をする場所となっています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行事に招待したり、遊びに来てもらう等、継続的な付き合いが出来るよう心掛けています。大きな行事等ある時は声をかけています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴、ご家族の希望、本人の希望を聞き、利用者様本位の生活支援に努めています。日々楽しく生活して頂く為の趣味や興味の発見に努め、個々に対応できるようサポートしています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自信の語りや、ご家族・知人の訪問時等、少しずつ把握に努め、プロフィール、生活歴のシートを活用し本人の全体像を知る取り組みをしています。現在、喫茶店をオープンしておられる方、麻雀、囲碁、畑、洋裁等、個々にその方らしく生活しておられ、その支援に努めております。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体像を把握しています。ケア評価表を毎日チェックする事で、利用者様を個別に日々サポートできる体制を整えており、寄り添えるケアの充実をめざしています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	モニタリング等をする事でスタッフ全員がどう関わっていけるかを話し合っています。その上で統一介護に向けて努力しています。	○
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が情報を確認し、期間が終了する前に見直し、状況変化があれば、その都度カンファレンスを開き、必要があればモニタリングし、それを元にご本人とご家族と話し合い、現状に即した計画書に変更しています。	
			利用者が自分らしく暮らせるようBS法やQC活動を通し、職員の気づきや統一介護へのスーパービジョンを心掛け、ホーム内研究を続けています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状況変化には、個々のケア記録に記載し、職員間の情報共有を徹底しています。個別記録を元に介護計画の見直しをし、評価を実施しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かして、その利用者様にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療措置を受けながら生活の継続をしております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様が安心して地域で暮らしを続けられるよう警察、民生委員さんと意見交換する機会を設けています。	○	運営推進会議や行事等に参加して頂き、ホームの生活を知って頂く事で理解や協力を得ています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特養への申請や、入院し常時医療行為が必要となった時、地域のケアマネ（社協）に相談し、ご本人、ご家族のバックアップを行っています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席して頂き、ホームでの様子をお伝えできているので、周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いています。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	NSや薬剤師さんに会議やカンファレンスに参加して頂き、知識や相談、アドバイス等の指導を得ています。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	ご家族の希望等考慮しながら、ホームでの支援を可能な限り受け入れる体制を整えていますが、今までの所、医療発生と共に病院へ移られる方が多くなっています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	アセスメント、ケアプランや支援状況等を手渡すと共に、情報交換を行い、馴染みの職員が機会を作り、訪問に行くなど、住み替えのダメージを防ぐことに努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティングの折に、職員の意識向上を図ると共に、日々の関わり方について話し合い、利用者様の誇り、プライバシーを損ねない対応の徹底を図っています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員側が決めた事を押し付けるような事はせず、複数の選択枠を提案して一人ひとりの利用者様が自分で決める場面を作っています。	○	一日の仕事の流れの中で、ご本人のできる事、希望される事等を重視し、自己決定の場面を大切にしています。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物、散歩、フットマッサージ等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応しています。	○	中庭や駐車場等、活動できる場所を提供しながら、ご本人の体力や希望に合った事を支援するよう努めています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の着替えは、ご本人の意向で決めており、スタッフは見守り、支援が必要な時は手伝うようにしています。又、日頃からマニキュアや毛染め等、ご本人の意向に合わせた取り組みを行っています。	○	外出時は化粧したり、おしゃれして出掛ける姿を支援し、美容院では自分でヘアスタイルを伝えながら行うよう努めています。

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>外出、外食レクでは、普段食べられない物や、ご本人が希望される物を召し上がって頂き、楽しんで頂けるよう支援しています。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>オムツからリハパン、リハパンから布パンへの排泄支援に努める為、個々に排泄パターンを把握してトイレ誘導をするようにしています。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>遠出の外出や地域行事参加等の楽しみ事を利用者様と相談しながら行っています。又、喫茶店、麻雀、畑仕事、パチンコ、散歩、洗濯、台所仕事等、ご自分の好きな事、出来る事を日々楽しんで頂ける支援を行っています。</p>

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	馴染みのカバン、財布等を御家族に協力して頂き、自分でほしい物を買って、レジで自分で支払い、おつりをもらう支援を行っております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	喫茶店、買い物、散歩、ドライブなど、日常的に外出する機会を作り、支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人が行きたいと思う遠くの場所への外出については、予め計画を立て、職員の勤務を調節する等しながら行っております。昼神温泉や、イチゴ狩りなど、遠出のバス遠足など外出支援を計画し、実行しています。	○	ご家族と一緒にの外出や、一泊旅行等、今後取り入れていきたいです。利用者様の思いを実現する為の方策を職員同士で検討し、支援につなげております。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と相談し、ご本人の希望に応じ、電話できる体制が常にあり、又、プライバシーにも留意し、スタッフが気を配っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族も親の家を訪ねるような気軽で来やすい雰囲気作りを心掛けています。一緒にお茶を飲んで頂いたり、レクレーションに参加して頂いたりして楽しんで頂けるよう工夫しています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング、日々の申し送りの中で、身体拘束のないケアを意識し、振り返っています。研修などで学習する機会を設け、スタッフ間で統一介護に向け共有しています。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (1F)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	来設時、状況を報告し今後起りうるリスクを話し、理解を得ています。その上でご家族の思いを伝えて頂いています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェック、食事量、排泄状況等、状況を常にスタッフが把握しています。又、気になった事は申し送りで伝え、情報の共有を図っています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方や用量が変更されたり、本人の状態変化が見られる時は、いつもよりも詳細な記録をとるようにし、NSや協力医療機関との連携を図れるようようにしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	多めの水分と繊維質の多い食材や乳製品を採り入れています。散歩、家事活動など身体を動かす機会を適当に設け、自然排便できるよう取り組んでいます。毎日、起床時に体に良い水(波動水)を200cc位を目処に飲んで頂いたり、適度な運動を心掛けています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を全ての職員が事業所内の研修で理解し、肺炎を予防するよう努めています。義歯の方は、毎日ポリデント消毒を実施しています。毎食後の口腔ケアも一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いを支援しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立で調理を行い、状態、習慣に応じた個人の量、形、硬さに合わせ調理しています。食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有しています。ご自分で飲みたい時にいつでもお茶が飲めるようにテーブルに急須と湯のみが配置されています。		

岐阜県. 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	事業所内で起りうる感染症についてマニュアルを作成し、特にノロウイルス対策は、スタッフ間で毎日の業務の中で予防についての対応をしています。全職員による学習会を開催し、スタッフ間で共有し予防・対策に努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾等每晚漂白しております。食器、コップ等、週に1回消毒の日を実施しています。食量品の買出しはなるべく買いためしないようにして、鮮度の高い食品を意識しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にはベンチ、花だんがあり、又プランターには四季折々の花を利用者様と植え、明るい雰囲気や季節感を演出できるよう努めています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の家での過ごし方、馴染みのもの等知り、情報を活かしながら、居心地良く自分なりの活動がしやすくなるような工夫や配置を利用者様と一緒に演出できる空間作りに努めています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブル席に自由に移動し、仲の良い方同士で過ごす事が出来ます。中庭や外庭にも各所休憩できる椅子や場所が工夫してあります。		

岐阜県 愛の家グループホーム多治見 (1F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	<p>本人の状態を把握し、状況に合わせて環境整備に努めています。本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せるよう試みしています。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 愛の家グループホーム多治見（1F）

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・生活歴を生かした支援を行っており、ホーム内に喫茶店をオープンしたり、麻雀や囲碁を楽しんでもらう事で、日々充実した生活を行えるように支援しています。
- ・花を育てたり、畑での収穫など季節に合わせ、利用者様と一緒に楽しく暮らせるよう支援しています。
- ・ご本人の状態に合わせ、生活の中で役割を持って頂き、変化のある生活を支援しています。
- ・外出して、モーニングコーヒー・買い物・散歩など外出する機会を増やし、地域交流、外気の雰囲気を感じとってもらえるよう支援しています。
- ・中庭があり、自由に出入りされ、音楽を聴かれたり、小鳥のなき声を聞きながら、花の手入れをされたり、ゆったりとくつろいで頂ける場所となっています。
- ・広い庭があり、ゴーヤ・キウイフルーツ・南紅梅の木を植え、収穫できる楽しみを持ちながら、皆様が毎日水撒きをする事で生活リハビリに役立てています。
- ・ご自分の鞆や財布にお金を入れ、ご自分で好きな物を買って頂く支援をしています。
- ・他施設と交流を深め、日帰りバス旅行等に行く事ができています。